

# 文化財ウィーク2011

今年も東京都主催の「文化財ウィーク2011」が10月から行われ、西東京市でもいくつかの事業を企画しています。ぜひ、ご参加ください。

○写真展「西東京市の歴史を描いたジオラマの風景は今・・・」

52年ぶりに修復された西東京市の歴史ジオラマに取り上げられた地点の、今の風景や文化財を写真パネルにして展示します。また、関連する文化財や図書などもあわせ展示します。

○第3回民具展示「屋敷林とむかしのくらし」

保谷の庶民が1960年代頃まで使っていた民具・農具を展示します。また、屋敷林を楽しむコーナーや子ども向け体験ブースも設置、あわせてミニ講演会も行います。

▼日時 10月29日(土)～11月26日(土) 午前10時～午後5時 (入室は午後4時30分まで)

▼場所 西東京市郷土資料室 (毎週月・火曜日休室) 042(467)1183

## 西東京市誕生10周年記念「大人のための朗読会」を実施しました

西東京市誕生10周年を記念し、10月1日(土)、コール田無・多目的ホールで図書館主催の「大人のための朗読会」を行いました。

朗読会では、平成18年に図書館30周年記念事業として実施してきた、「田無朗読ボランティアの会」、「保谷朗読ボランティアの会」、「それぞれの協力を得て、大人を対象とした朗読会を開催してきました。今回は、合併10周年を記念したもので、両会と図書館で実行委員会をつくり、約1年かけて準備しました。

当日は、200人ほどの来場者があり、大変盛況でした。アンケート結果によると、40代から70代の方が中心で、図書館主

催の朗読会に初めて参加した方が大半でした。最初の演目『外郎売りの科白』は、滑舌や呼吸法等の訓練に利用される口上ですが、両会合同で披露できるものとして取り上げました。また、郷土・西東京市を感じていただけよう、田無・保谷の昔話や『きつねの窓』『想いのサダコ』という西東京市ゆかりの作家の作品を取り入れました。このほか、変化のあるプログラムを心がけましたが、「演目がバラエティーに富んでいて楽しかった」という感想が多数寄せられ、好評でした。

朗読は「耳から聴く読書」ですが、会場の照明設備等を生かし、光や色などでも作品の世界を表現する工夫をしました。「演出がすてきだった」という感想もあり、普段とはまた違った朗読の楽しさを感じていただけたと思います。



両会合同による「外郎売りの科白」



## 「校庭の芝生化」

今夏、谷戸小学校において本市として二校目の大規模実施となる約3,000㎡の校庭の芝生化整備を実施しました。8月

に芝を張り、養生期間を経て、9月下旬から開放しています。校庭を芝生化することによる効果として環境面では、地表面温度の低下(ヒートアイランド現象の緩和)や砂ぼこりの軽減などがあり、教育面の効果では、ケガの減少、運動能力の向上、外で遊ぶ子どもが増加や子どもの精神面の安定などがあります。また、地域社会との関わりでは子どもたちと地域の人たち、保護者、先生が協力してコミュニティの形成を促すなどの効果が期待されています。

今後とも芝生の育成・維持管理については、専門家のアドバイスを受け、学校・保護者・地域住民の皆様の協力も得ながら、地域活動の一環として取り組んでいきたいと考えています。

◆学校運営課 042(438)4072

## 菅平少年自然の家のご利用について

昭和49年8月に設置された「西東京市菅平少年自然の家」は、市内小学校の移動教室を中心として多くの市民の皆様にご利用いただいております。

一方、施設の老朽化などの課題から、平成19年5月より検討委員会を設置し、検討してまいりましたが、平成22年2月の教育委員会並びに平成23年9月の第3回市議会定例会において平

成23年度内の廃止を決定しました。

このことに伴いまして、施設の利用につきましては、平成24年2月26日(日)の宿泊利用をもって終了とさせていただきます。長い間ご利用いただきましてありがとうございました。

### ◆社会教育課

042(438)4079

回はこの地域の文化財をバスと徒歩で巡ります。

▼日時 11月19日(土) 午後1時30分～4時

▼集合 田無庁舎1階ロビー(1階前)

▼定員 20人(申し込み多数の場合は抽選)

▼申込 往復はがきに、住所・氏名・年齢・電話番号を明記

### ◆社会教育課

042(438)4079



## シリーズ図書館② ひばりが丘図書館

西武池袋線ひばりが丘駅南口から線路沿いに2分ほど歩くと、ひばりが丘図書館につきます。駅に近く市の境界にあることから、登録者の約4割が市外の住民です。ひばりが丘図書館は、中央図書館に継いで2番目に多い15万冊の蔵書があります

ひばりが丘図書館

が、その中に「原爆小文庫」というコレクションがあります。「原爆小文庫」は、旧保谷市に住んでいた故長岡弘芳氏が収集した原爆関連資料をもとに保存しているコレクションです。長岡氏は、丸木美術館ともかわり、深い原爆文学研究者であり、近くの公共図書館で気軽に市民に読んでもらおうと、下保谷図書館(保谷駅前図書館の前身)が開館したのを機にご自分の所有している資料を図書館に寄贈して下さいました。ひばりが丘図書館に移設した後も、「原爆小文庫」の資料は、全国からの問い合わせや図書館来館者に、数十年にわたり、現在も利用されています。資料を保存し提供する環境を継続させていくことは図書館の重要な機能の一つであるのです。

◆ひばりが丘図書館 042(424)0264

## 子ども記録コーナー⑦

### ピオトープ

僕たちの柳沢中学校には、ピオトープがあります。それは10年くらい前に先輩たちが穴を掘り、ブルーシートを使って池を作り、そのまわりにはタンポポなどの植物を植えて作ったものです。ピオトープには毎年カエルが産卵しに來たり、金魚やコイが息していました。そのため、それを食べにカラスやネコが来ることもありました。

しかし、2年ほど前に、いたずらした人がいて、その環境が破壊されてしまいました。そこで、僕たち科学部では去年と今年に再生活動を行いました。毎回泥だらけになりながら、去年はピオトープを掃除してきれいな水を入れました。しかし、環境はあま

柳沢中学校 二年竹内 虎輔



科学部の取組の様子